



ストレスチェック制度の義務化 デジタルアーカイブ

新保 克佳
(公明党)

質問 本市ではストレスチェックの実施により職員の健康にどのようにつなげるのか。また、市内事業所へのサポート体制は。



答弁 本制度を有効に活用し、従来のメンタルヘルス対策をより積極的に推進し、心の病の発生を防止し、健康で働きやすい職場を目指していく。また、市内各事業者に対しては、情報提供など必要な支援を行っていく。



質問 こころの体温計は、メンタルヘルス対策として大変効果的であるが、導入する考えは。



答弁 導入済の市町村では、アクセスが多い傾向にあるものの名前が特定できず具体的な相談



健康寿命の延伸 生活困窮家庭への学習支援

小野 聡子
(公明党)

質問 健康寿命を延ばすには、病気の早期発見が重要である。検診の受診率を上げるため、コンビニ駐車場など身近な場所



で検診できないか。また、介護予防に一定の効果上げた事業者を評価することで、予防に力が入ると思うが、評価の手だては。



答弁 コンビニの駐車場で既に胸部検診をしている地区もある。がん検診と特定健診のセットでの実施は課題も多いため、他市



の事例を参考に研究したい。また、介護報酬改定での加算の創設は、介護予防事業展開への経済的な動機付けになると考える。



質問 国は、生活困窮者自立支援制度や母子家庭等対策総合支援事業の中で学習支援を用意している。本市におけるひとり親や生活困窮家庭の児童・生徒への学習支援の取り組みは。



答弁 この事業を適切に実施するためには、指導者や財政的な



がん対策と支援の状況 大規模災害への備え

渡邊 幹治
(新風会)

質問 がん検診の重要性を授業で行うことで、将来的に受診率の向上につながるのではないか。



答弁 保健の授業を中心に、感染症の予防やがんなどの生活習慣に関わる疾病についての正しい知識、その予防策や定期的な検診の大切さを学んでいる。今後



も授業内容の充実を図りたい。



質問 がんは身体的な負担はもちろん精神的な負担も多い。がん患者への支援として、相談窓口の情報発信などの取り組みは。



答弁 市では相談を随時受けている。市以外では、自主グループが地域がんサロンを月2回開催し、がん経験者やその家族が



ビジネス誘致施策 生涯スポーツの推進

根岸 赴夫
(新風会)

質問 高崎シティプロモーション事業の成果と継続する理由は。



答弁 平成26年は東京の丸ビル、27年は渋谷ヒカリエで開催し、2万人を超える来場者があった。東京に本社のある企業のトップも多く来場し、高崎のアピール



ができた。この事業は継続することが大事であるため、28年も場所や期間等を研究して、実施したい。



質問 企業誘致の奨励金である



検討も必要なことから慎重に研究していきたい。



質問 ヘルプカード導入の考えは。



答弁 自立支援協議会で検討を



質問 下水処理やし尿処理施設での汚泥の発生量や処理費用の現状は。また、安定的な再生可能エネルギーであるバイオマス発電の可能性は。



答弁 汚泥は、阿久津の水処理センターで年間1万2000トン、費用は約2億3000万円、し尿処理は、城南クリーンセンターで年間1600トン、費用は約1600万円となっている。また、バイオマス発電は、プラ



質問 再生可能エネルギーの利用



白石 隆夫
(新風会)



質問 高崎市を対外的に売り込む戦略



答弁 今後、保健学習や保健指導、健康教育を通して自己の健



質問 数多くあるスポーツの中で、市民大会と銘打っているスポーツ大会の現状は。



答弁 平成26年度は、水泳、野



質問 中学生のピロリ菌検査



木暮 孝夫
(公明党)



質問 昨年12月議会の一般質問以降、佐賀県では中学3年生を



対象にピロリ菌の感染検査を実施することになった。また、厚生労働省の研究チームにより中



学生のピロリ菌検査の実施マニュアルが示された。本市においても胃がんで亡くなる人をゼロにするため、早期に実現してほしいと思うが見解は。



答弁 今後も保健学習や保健指導、健康教育を通して自己の健



質問 ぐるりんバスは、大人数が利用するエリアでは有意義であるが、支所地域では非効率である。支所のぐるりんを廃止し、タクシ



の交通手段を活用する考えは。



答弁 ぐるりんを廃止し他の交通手段にするのではなく、他の公共交通や福祉施策と連携し、必要に応じ見直しながら、ぐるりんの役割を果たしていきたい。



質問 イオンモールから県道高崎渋川線までの西毛広域幹線道路の進捗状況は。



答弁 延長753メートルのうち、本年度末までに530メートルが完成する。残りの区間は、



行っている。個人情報記載によりトラブルに巻き込まれる恐れや認知度の低さからその実効性に疑問もある。引き続き議論を深め、慎重に検討したい。



質問 安心して暮らせる高齢者支援



投資に見合う効果があれば進展する可能性がある。国の支援制度があれば、周知していきたい。

質問 高崎ブランド・シティプロモーション戦略事業の考え方と今後期待できることは。

答弁 高崎の魅力強く国内外に情報発信する高崎ブランド・シティプロモーション戦略の計画を策定する。高崎ブランドを確立することで、来訪者が再び訪れたいと思うまちづくりや市内産業の底上げによる市内経済の活性化や交流人口、定住人口の増加につながると考える。

質問 道路脇の杉や雑木の枝は、大きくなると道路にはみ出した倒木の恐れもあり危険であるが、本市としての対策は。

答弁 定期的に道路パトロールを実施し、危険箇所の補修、修繕を行っている。また、道路脇の立竹木が道路の通行に影響がある場合には、所有者に改善をお願いしている。降雪や台風時には事前のパトロールを実施するなど安全確保に努めている。

質問 高崎カントリークラブは和田橋や国道から烏川を挟んだ場所にある。公園化に伴うアクセスについての考えは。

答弁 烏川豊岡緑地(仮称)は、高崎カントリークラブの敷地10ヘクタールを現状のまま芝生広場として広く市民に開放する。アクセスは、街中から桜観音橋を渡り河川内連絡通路から君が代橋経由及び片岡側から八千代橋経由、国道18号からのルートがあるが、現状のルートを有効活用し、新たな市民公園として利用できるよう努めていく。

質問 高崎カントリークラブは和田橋や国道から烏川を挟んだ場所にある。公園化に伴うアクセスについての考えは。

答弁 烏川豊岡緑地(仮称)は、高崎カントリークラブの敷地10ヘクタールを現状のまま芝生広場として広く市民に開放する。アクセスは、街中から桜観音橋を渡り河川内連絡通路から君が代橋経由及び片岡側から八千代橋経由、国道18号からのルートがあるが、現状のルートを有効活用し、新たな市民公園として利用できるよう努めていく。

質問 高崎カントリークラブは和田橋や国道から烏川を挟んだ場所にある。公園化に伴うアクセスについての考えは。

答弁 烏川豊岡緑地(仮称)は、高崎カントリークラブの敷地10ヘクタールを現状のまま芝生広場として広く市民に開放する。アクセスは、街中から桜観音橋を渡り河川内連絡通路から君が代橋経由及び片岡側から八千代橋経由、国道18号からのルートがあるが、現状のルートを有効活用し、新たな市民公園として利用できるよう努めていく。

質問 高崎カントリークラブは和田橋や国道から烏川を挟んだ場所にある。公園化に伴うアクセスについての考えは。

答弁 烏川豊岡緑地(仮称)は、高崎カントリークラブの敷地10ヘクタールを現状のまま芝生広場として広く市民に開放する。アクセスは、街中から桜観音橋を渡り河川内連絡通路から君が代橋経由及び片岡側から八千代橋経由、国道18号からのルートがあるが、現状のルートを有効活用し、新たな市民公園として利用できるよう努めていく。

質問 高崎カントリークラブは和田橋や国道から烏川を挟んだ場所にある。公園化に伴うアクセスについての考えは。

答弁 烏川豊岡緑地(仮称)は、高崎カントリークラブの敷地10ヘクタールを現状のまま芝生広場として広く市民に開放する。アクセスは、街中から桜観音橋を渡り河川内連絡通路から君が代橋経由及び片岡側から八千代橋経由、国道18号からのルートがあるが、現状のルートを有効活用し、新たな市民公園として利用できるよう努めていく。

質問 高崎カントリークラブは和田橋や国道から烏川を挟んだ場所にある。公園化に伴うアクセスについての考えは。

答弁 烏川豊岡緑地(仮称)は、高崎カントリークラブの敷地10ヘクタールを現状のまま芝生広場として広く市民に開放する。アクセスは、街中から桜観音橋を渡り河川内連絡通路から君が代橋経由及び片岡側から八千代橋経由、国道18号からのルートがあるが、現状のルートを有効活用し、新たな市民公園として利用できるよう努めていく。

平成27年12月から50人以上の事業所で義務付けられた労働者に対して実施するストレス状態を調べる検査のこと。(6)

携帯電話やパソコンを利用して、簡単な質問に答えることでストレス度や落ち込み度がわかるメンタルチェックシステムのこと。



地域で高齢者や障害者を守ろう

(7) **まめ知識** デジタルアーカイブ(P6参照) 博物館や図書館などの収蔵品や文化資源をデジタル化して保存、後世へ継承すること。

まめ知識 ヘルプカード(P6参照) 障害者が携帯し、緊急時や災害時に必要な支援や配慮を周囲の人に求めるためのカードのこと。